

日水サービスが『MMパネット』採用

ラップ廃棄量を62%削減

魚肉ソーセージなど「環境活動を展開。全事業で知られる日本水産（ニッスイ）グループの日本水産（東京）は環境活動の一環として「MMパネット」の導入を開始した。環境管理責任者を兼任する鈴木正敏物流部長、開発担当の仲村明彦副参事、環境活動の推進役を務める小長井静春課長に話を聞いた。

ニッスイグループではグループをあげて環境活動を展開。全事業で知られる日本水産（ニッスイ）グループの日本水産（東京）は環境活動の一環として「MMパネット」の導入を開始した。環境管理責任者を兼任する鈴木正敏物流部長、開発担当の仲村明彦副参事、環境活動の推進役を務める小長井静春課長に話を聞いた。

当たり前が

同社ではニッスイ製品全般の商品管理を請

け負っており、自社車両五台を含め、一日に約六十台を稼働。展開する環境活動について鈴木部長は、「グループとしてCO2、水、廃棄物の三つの削減を目標に掲げている」とし、「当社では特にCO2と廃棄物の削減に取り組んでいる」と説明。

CO2を削減するため、「自社車両にデジタコを導入する」とも、備車先にはエコドライブの励行を呼びかけているという。廃棄物の削減では、ストレッチフィルム（ラップ）に着目。

小長井課長は、「商品管理にラップとPPバンドを活用していたが、大量に消費する使い捨てのラップを減らすことが廃棄物削減への課題だった」と振り返る。「これまでは、ラップを使って当たり前」と考えていたが、調べてみると一日に約五千枚も捨てていることがわかり、大変な無駄だと強く感じたという。

「様々なラップの代替製品も試した」とい

う同課長だが、「面倒だった、使い勝手が悪かったり、なかには荷崩れを起こした製品もあった。いろいろ試すうちに『やはりラップしかないのか』と平ばあきらめていた。

インターネットで知った「MMパネット」を取り寄せたときも、「一見するとネットがダブっているようで、『これもどうせダメだろう』と早々にあきらめていた。しかし、『構内でテストを繰り返して、フォークリフトでわざと激しい荷扱いをしても『MMパネット』はしっかりと商品が固定していた」という。「悔しいが私の想像に反し、一向に崩れなかった。非常に驚いた」。